令和５年第１回定例会　提出議案とその結果（つづき）

（賛成：○　反対：×　棄権：棄　欠席：欠）

	議案番号	件名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
			議決結果	谷田裕之	栗田弘志	倉林益代	小賀野健司	内田英亮	矢野間規	山口豊	山田康博	清水静子	門倉道雄	巴高志	堀口伊代子	冨田雅寿	梗田平一郎	柿沼綾子	柿沼光男	広瀬伸一	小林猛	高橋和美	林富司	早野清
市長提出議案	第25号議案	令和５年度本庄市一般会計予算【P14・P15】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は可否同数の場合のみ採決に参加します。	○	×	○	○	○	○	○	○
	第26号議案	令和５年度本庄市国民健康保険特別会計予算【予算額：79億8459万5000円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	○	○
	第27号議案	令和５年度本庄市介護保険特別会計予算【予算額：66億312万7000円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	第28号議案	令和５年度本庄市後期高齢者医療特別会計予算【予算額：10億6447万9000円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	第29号議案	令和５年度本庄市水道事業会計予算【収益的収入予定額：16億5114万4000円、収益的支出予定額：16億8256万7000円、資本的収入予定額：３億5414万1000円、資本的支出予定額：９億8586万2000円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	○	○
	第30号議案	令和５年度本庄市下水道事業会計予算【収益的収入予定額：21億2607万1000円、収益的支出予定額：20億5057万4000円、資本的収入予定額:16億9090万5000円、資本的支出予定額：21億54万5000円】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	議第1号議案	本庄市議会の個人情報の保護に関する条例【P15】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議第2号議案	本庄市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例【P15】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	議第3号議案	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施延期を求める意見書【P15】	原案可決	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×		×	○	×	○	○	○	○	○

総務常任委員会

委員長
清水　静子
副委員長
門倉　道雄
委員
小賀野健司
巴　高志
広瀬　伸一
高橋　和美
早野　清

3月2日・3日の2日間にわたり、委員会を開催し、継続審査となっていた付託請願1件、付託議案9件を慎重審査致しました。主な内容及び質疑は次のとおりです。

○本庄市犯罪被害者等支援条例

問 傷害見舞金10万円は、例えば軽傷や全治2か月でも一律の支給でしょうか。

答 傷害見舞金10万円の支給対象者は、規則で詳しく定めていて、治療に1か月以上を要すること、かつ3日以上の入院があることが条件となっています。

○本庄市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

問 報酬の支給内容が変更されましたが、今までと同じような出動回数であれば、報酬は上がりますか。

答 現在出動旅費として年額3万5000円を支払っていますが、出動回数で支給する方法に変更することにより、月1回の定期訓練だけで現在よりも多く支給されることになります。出動数によって差はでますが、支給される額は、増加すると試算しています。

○令和5年度一般会計予算

問 魅力発信プロモーション戦略業務委託料の高校生と地域と行政で行う課題解決型プログラムは、高校生から課題を聞き取りするのでしょうか。

答 4月1日から高校生に、課題について聞くところから始めるとかなりの時間を要することとなり、また広報課以外の課にも高校生が関わる事業を広げていくという観点もあることから、あらかじめ本市で抱える4つの課題をテーマとして提案する予定です。

〈予算計上された事業の一部〉
電気自動車・EV急速充電器設置事業　2411万円
「本庄市ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向け、公用車をゼロエミッション車両へ計画的に置き換えるため、電気自動車の購入やEV急速充電器設置の予算が計上されています。

はにぽんプラザ設置のEV急速充電器

建設産業常任委員会

委員長
梗田平一郎
副委員長
山田　康博
委員
山口　豊
堀口伊代子
冨田　雅寿
柿沼　綾子
林　富司

3月6日・7日の2日間にわたり、委員会を開催し、付託議案9件を慎重審査致しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

○令和5年度一般会計予算

問 「生ごみ出しません袋」について、大きさや材質、配布枚数を伺います。

答 「生ごみ出しません袋」は、生ごみの自家処理等を促す目的で、生ごみを排出しないことを宣言した世帯に配付します。大きさは15リットル、縦45センチ、横55センチで、現在の収集ごみ袋と同じ材質です。1世帯年間120枚を限度とします。

問 本庄総合公園のローラー滑り台のローラー交換は、いつ頃実施するのでしょうか。どのくらいの間使えなくなり、どのように周知するのでしょうか。

答 現在の計画では、工事自体は利用率の低い寒い時期と考えています。工事期間は1か月半から2か月で考えていますが、本体の劣化具合により期間が変わります。周知は、広報、ホームページ、電光掲示板、小学校や幼稚園、保育園へのご連絡を考えています。

問 新規就農者農業用機械等導入支援事業補助金、1経営体50万円で、国・県の補助事業がそろっている中で、市の独自の事業として新規で立ち上げた理由を伺います。

答 今まで市独自の補助金がなかったことから、本市の基幹産業である農業を盛り上げるため、また、農業をする場として本庄市を選んでいただく1つの要因になればと考えています。

○市道路線の廃止・認定

県道花園本庄線道路建設に伴う路線の廃止・認定、開発行為に伴う路線の廃止・認定など、市道路線の廃止6件、市道路線の認定4件について、現地にて説明を受けながら確認を行い、審査を行いました。

現地視察の様子

厚生文教常任委員会

委員長
矢野間　規
副委員長
谷田　裕之
委員
栗田　弘志
倉林　益代
内田　英亮
柿沼　光男
小林　猛

3月2日・3日の2日間にわたり、委員会を開催し、付託議案13件を慎重審査致しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

○本庄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

問 安全計画について、事業所は1年間で計画が策定できる見通しなのか。

答 この規定は、静岡県の認定こども園で、送迎バスに置き去りにされた子供が亡くなるという、痛ましい事件が契機となりました。安全計画の策定は、1年間は努力義務、翌年から義務化となります。国は安全計画の計画例などを提示しており、市では来年度に事業者に説明会を開く予定です。

○令和5年度一般会計予算

問 障害者基幹相談支援センターは、具体的にどこに設置されるのか。また、どのような機能なのでしょうか。

答 基幹相談支援センターの場所は、現在未定です。今後公募で受託の事業所を決定します。基幹相談支援センターは、地域の障害者の相談支援体制を重層的にし、厚みのある支援を行っていくものです。

問 本庄早稲田の杜ミュージアムにおいて、映像コンテンツとして実施する3Dモデリング化は、特徴的な資料でのみ行うのでしょうか。

答 3Dモデリング化するのは、現状では盾持人物埴輪や女子人物埴輪など3点を考えています。

本庄早稲田の杜ミュージアムの
女子人物埴輪（左）　盾持人物埴輪（右）

また、本委員会では、本市において昨年発生した5歳児死体遺棄事件を受けて、令和4年4月及び6月に、児童虐待防止の制度や児童相談所の業務について二度の勉強会を実施し、報告書を市の担当部署に提出しました。

17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

委員長　猛小林
副委員長　規矢野間
委員　裕之谷田
　弘志栗田
　健司小賀野
　英亮内田
　豊山口
　高志巴
　富林

国道17号本庄道路は、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、緊急車両の通行及び災害物資の輸送等のネットワーク強化を目的とした深谷市岡から高崎市新町までの延長13・1㎞のバイパスです。そのうち、旧神流川橋の老朽化に伴い優先的に整備を進めていた新しい神流川橋が令和4年12月に暫定二車線で開通しました。

新たな神流川橋［写真手前側］
（埼玉県側から撮影）

本特別委員会では、令和4年12月に、埼玉県知事、埼玉県議会の自由民主党国道17号バイパス（本庄道路）建設促進懇話会、公明党議員団を訪問し、引き続き、国道17号本庄道路の1日も早い全線開通に向けての協力をお願いしました。令和5年3月には、国土交通省と財務省を訪問し、要望書を手渡し、国道17号本庄道路の早期整備のための予算付けなどをお願いしました。

財務省へ要望活動

また、幹線道路の現地視察も行いました。令和4年6月には、県道花園本庄線の小山川を渡る新たな橋梁の整備状況や、国道254号本庄藤岡間バイパスのルート案に沿って、現地の確認を行いました。

本特別委員会は、今後も国道17号本庄道路の早期整備のための要望活動や幹線道路の今後の整備に向けての調査研究等の活動を実施していきます。

交通政策及び観光政策特別委員会

委員長　伸一広瀬
副委員長　道雄門倉
委員　益代倉林
　康博山田
　静子清水
　平一郎粳田
　綾子柿沼
　光男柿沼
　和美高橋
　清早野

本特別委員会は、本庄駅、児玉駅、本庄早稲田駅の3駅を中心に、安全で快適な通勤・通学環境の創出や、子育て世代を含む定住者の増加を図り、にぎわいのある地域社会の実現に取り組むため、長期的な視点でJR東日本に対して要望活動などを実施すること、及び本庄市の観光拡大についても取り組んでいく委員会です。

JR東日本高崎支社へ要望活動

令和4年6月には、JR東日本高崎支社へ、JR高崎線の籠原駅発着の列車を高崎駅発着へ変更することや15両編成列車を籠原駅以北へ延伸すること、JR八高線沿線地域の活性化のため、サイクルトレインやSL等の臨時列車を運行することや本庄早稲田駅への新幹線の停車本数の増加について、要望活動を行いました。

JR八高線現状調査の様子

令和5年3月10日に開催した委員会では、JR八高線の現状調査を行いました。児玉駅から乗車し、駅やホーム、車内や乗降客の様子などを確認しました。降車駅の越生町内では、サイクルトレイン運行のための参考として、サイクリスト休憩所などを視察しました。今後も引き続き、コロナ後の時代を見据えた鉄道の利便性向上についてJRへ要望するほか、調査研究を進めていきます。